

# とよかまち

8/10

1995年(平成7年)

No.466

■発行/十日町市役所  
〒948新潟県十日町市千歳町3丁目3番地  
TEL 0257-57-3111  
■編集/企画人事課広報広聴係

## 特集 戦後50年 私たちは子や孫に

▼十日町おまつり 6

▼第15回克雪・利雪フェア  
10月1日は国勢調査

▼市民のページ

▼お知らせ  
10月8・9日  
7

### 戦争を語り継げるか



戦後50年。この半世紀という時の長さは、今を生きる私たちにとってどんな意味を持つのでしょうか。

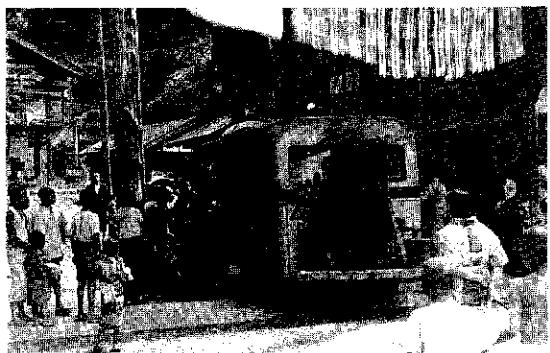
第二次世界大戦という、人類がかつて経験したことのない大きな悲劇から、私たちは何を学びとつていく必要があるのでしょうか。

半世紀にわたる反省と復興への努力が、今の日本を作り上げたのです。

今私たちにできることは、二度とあの悲劇を起こさないために、子や孫に平和の尊さを伝えることです。

今回の特集は、満州事変から始まった15年戦争、終戦そして戦後の苦闘を当時の写真を基に市史編さん委員の上村政基さんからづついただきました。

# から太平洋戦争へ



木炭自動車：ガソリンが使えなくなり、木炭、木片などを燃料にした木炭自動車（昭和15年）

明治年代には日清・日露戦争があり、大正初年には第一次世界大戦がありました。政治・経済・文化など、

年表で見るよう、この間上海事変・支那事変があり、さらに張鼓峰事件・ノモンハン事件までが相次いで、日本国民にとっては、気持ちを休める余裕など一つもなかった時代です。戦場で大切な命を懸けて戦う兵士たちの苦闘は、いかにもなく、内地で戦争体制に協力する人たちにとっても、いいような圧迫感に覆われた暮らしが毎日繰り返されていました。生活の何もかもが、「戦争」という言葉に包まれていた、十五年間だったのです。

## 軍国日本への足どり

あらゆる面で近代的な国家を作りあげようと努めてきた日本は、これらの戦争を経たあと、軍事的な面からも世界のトップに位置する体制を整えてきました。しかし、大正末から昭和

(昭和6年) 1931	
9月	満洲事変(九一八事変)
10月	北海道東北の大鉄砲
*	米価 六円五〇銭
5月	五・一五事件(海軍将校ら首相官邸などを襲撃、大義
	首相を射殺)
3月	米価 八円七一銭六厘
3月	三陸地方大地震大津波、死者一千五百人
*	米価 一〇円八〇銭
(昭和8年) 1933	
9月	台風、関西地方大暴風雨、死者五〇〇人
*	米価 一四円八〇銭
(昭和10年) 1935	
*	米価 一〇円九〇銭
(昭和11年) 1936	
2月	二・一六事件(陸軍将校らクーデターを企て齊藤内閣、高橋内閣を殺害)
*	米価 一一円八〇銭
(昭和12年) 1937	
7月	盧溝橋で日中軍衝突(日中戦争始まる)
12月	南京を占領、大虐殺事件
*	米価 一二円九〇銭

最初にかけての大不況は、国民の貧富の差を大きくするばかりでした。心が晴れる機会もなく、やつとその日を生きていいくような人たちが多くなっている反面、有り余る金の力でぜいたくな日常生活には夢も希望

昭和六年九月に満州事変が始まり、二十年八月の大東亜戦争(太平洋戦争)終戦までの十五年間は、戦争に明け暮れた日本でした。

（太平洋戦争）終戦までの十五年間は、戦争に明け暮れた日本でした。

## 社会の動き

（昭和6年）1931  
新潟県経済連資料による。

(昭和6年) 1931	
9月	満洲事変(九一八事変)
10月	北海道東北の大鉄砲
*	米価 六円五〇銭
5月	五・一五事件(海軍将校ら首相官邸などを襲撃、大義
	首相を射殺)
3月	米価 八円七一銭六厘
3月	三陸地方大地震大津波、死者一千五百人
*	米価 一〇円八〇銭
(昭和8年) 1933	
9月	台風、関西地方大暴風雨、死者五〇〇人
*	米価 一四円八〇銭
(昭和10年) 1935	
*	米価 一〇円九〇銭
(昭和11年) 1936	
2月	二・一六事件(陸軍将校らクーデターを企て齊藤内閣、高橋内閣を殺害)
*	米価 一一円八〇銭
(昭和12年) 1937	
7月	盧溝橋で日中軍衝突(日中戦争始まる)
12月	南京を占領、大虐殺事件
*	米価 一二円九〇銭



季節託児所：男子が少なく、主婦が田園へ出たあとを守る季節託児所（昭和14年）

当時の政府は、国家体制の確立を、天皇を中心とする精神面の強化が第一だと考えていました。そして、工業力を先進国並みに持ちあげることが先決で、貧富の差は、経済活動のひとつ成り行きで仕方のないことだと見て



防空演習：空襲に備えて、留守を守る婦人たちが防火訓練（昭和14年）

いたようです。そのために、生活向上や社会改造をはかる人たちに対しては強い弾圧を加え、革新的な大衆行動を禁止する」とが政治・行政の大きな命題となりました。さらに、精神面の強化策として、富國強兵という掛け声の下に、軍国主義的な教育が進められるようになりました。社会秩序の安定や、思想指導をはかる方策が、いつの間にか、軍事国家の強化にすりかえられていったのです。

いたようです。

# 滿州事変ぼつ発

戦争に  
追われた日々

勤労青年対象の青年学校では、既に教練科目が設けられていきましたが、満州事変後の昭和十年に開設された「も、専門的な軍事教育が行われました。良き兵士を育てる準備教育となつたのです。

満州事変では、仙台第二師団が直接戦闘にあたり、わが郷起つた上海事変とともに、勇敢



**出征兵の歓送：応召兵を送る旗の波。無事に故郷へ戻ったのは何人か**

4月	張鼓峰事件
※	米価 一三五日一錢
2月	政府、鉄製不急品を回収課 始
4月	青年学校義務制となる
5月	ノモンハン事件
7月	国民徵用令公布
11月	米穀強制買入省の公布施行
6月	米価 一六日三升銭
（昭和15年）1940	六大都市で砂糖・マシチの 切符制開始
9月	日銀印制可證開始
10月	大政翼賛会発会式
11月	紀元二六〇〇年記念祝賀 運動會の挙行
＊	米價 一六日三〇銭
（昭和16年）1941	（昭和16年）1941
3月	国民學校令公布（昭和一〇 年版）
7月	全国の營繕工事に競争を開 催
12月	対米英宣戰布告（日本軍ハ ツイサムニヤマニ半島上陸の 旨）
＊	米價 一六日五〇銭
1月	食糧の通帳配給制実施
2月	衣料回支制実施
4月	米倉機日本本土初空襲
6月	ミシシッピー海戦
8月	米軍カタルカナル島上陸
＊	米價 一六日六〇銭



金属回収：鉄類の不足に協力し、国防婦人会員が金属回収（昭和14年）



開墾作業：生産増強・食糧増産が合言葉  
だった開墾作業

量に消費していく戦いになつてゐたのです。広い戦場に、人馬と武器を配置し、食糧や資材を届けなければなりません。次から次へと出動命令が出され、応召兵たちは家族と故郷に別れを告げました。内地に残つている人たちには、国民総力戦という名の下に、戦場へ送る物資調達のため、生活のあらゆる面についての制約が課せられました。

皮・ゴム製品が店頭から姿を消し、衣料・ガソリンも使用制限、マッチも配給です。自分が強制買い上げして各

戸に配給します。一日に食べる量まで規制されたのです。ぜいたく品というので、十日町織物も製造禁止となつてしまひました。

皇紀二千六百年を祝つたあと、国民学校で使つた教科書は軍事色一辺倒、大人も子ども戦争の中で生きていきま

こういう時、アメリカイギリスなどを相手にする大変な戦争になりました。

この戦争こそ、これまでの日本の動きをとつに集約して立ちぬかうものであると政略は指導し、一層の頑張りを国民に求めました

# 敗戦から終戦

アメリカ・イギリス・中国などとの戦争は、アジア諸国の解放をねらい、それぞれが独立した平和と自由を手に入れようと/orする「聖戦」であるといい、大東亜戦争と呼ばれました。南に北に、東から西へ、陸・海・空に大変な戦闘が繰り返されました。そして、日本は敗けました。

尊い生命を国に捧げ、耐えに耐え忍んだ国民たちの苦労が、煙のように消えてしまった敗戦でした。

## 緒戦の勝利から敗戦へ

昭和十六年十二月八日、開戦早々に海軍はハワイ珍珠湾を急襲して大戦果をあげ、世界の人びとを驚かせ

きた中国大陸に加えて、新しい戦場はフィリピン・ボルネオ・スマトラなどといふ、遙かに海に行く島です。



学童疎開：戦火を逃れて、市内に疎開してきた学童たち（昭和19年）

半島を攻め、やがてシンガポールを攻略するなど、国民たちは日ごろの苦労が実つたと大喜びしました。開戦の日を肝に銘じよう

この戦いは、物量消費戦争だといった人もいます。船と飛行機は、大量の燃料

		（昭和19年）1943	
2月	ガダルカナル島撤退	5月	アツツ島日本軍全滅
5月	木皮のほカマキ・タキモ配給制	12月	第一回学徒兵入隊（学徒出陣）
1月	緊急国民労働動員方策要綱	1月	（昭和19年）1944
※	米桶 一八四四 錢	1月	決定
3月	学童給食・空地利用徹底	3月	学童給食・空地利用徹底・一般疎開促進の二要綱決定
6月	大都市の学童疎開決定	6月	砂糖の家庭用配給停止
8月	学徒労働令・女子庭園労働令公布	8月	（昭和20年）1945
11月	B29東京初空襲	11月	B29東京を夜間大空襲、死者九九八人
12月	東海地方に地震・津波死	12月	東海地方に地震・津波死者一八四八〇錢
※		8月	学徒労働令・女子庭園労働令公布
1月		3月	（昭和20年）1945
9月	総司令部、修業・日本歴史、地理の授業停止を命令	9月	（昭和20年）1945
12月	米桶 六〇円	12月	



観測史上最高の豪雪：降雪深累計（2,103cm）、積雪深（425cm）を記録。雪処理に明け暮れる毎日（昭和20年）

洋を何日もかけて航海しなければなりません。しかも、その海には、敵の艦が潜んでいるのです。

軍艦や輸送船は、広い太平洋を攻め、やがてシンガポールを攻略するなど、国民たちは日ごろの苦労が実つたと大喜びしました。開戦の日を肝に銘じよう

この戦いは、物量消費戦争だといった人もいます。船と飛行機は、大量の燃料

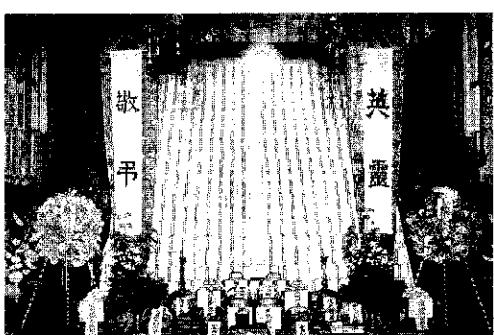
を消費するのです。今までの物資調達の方法ではとても間に合いません。まして向かってくるアメリカは、世界最大の物資国です。日本では、人手が不足、極端に乏しい生活でした。

戦局は、次第に不利となつてきました。郷土兵が守つて死闘の続けられた南のガダルカナル島では、十八年二月に撤退。五月には北のアツツ島で玉砕。日本軍の兵力が手薄になると、アメリカ軍の飛行機が内地に来襲して爆撃を繰り返し、軍用施設・兵器工場を攻撃するとともに、非戦闘員の住む一般住宅まで焼き尽くすようになりました。

二十年八月十五日正午、天皇の「終戦詔勅」がラジオ放送されました。

日本人全体が、歯を食いしばって生きてきた長い戦争が終ったのです。

軍民一体となつて開つた悲惨な沖縄戦が終了して、次はいよいよ本土攻撃が行われるかといつていい時、広島・長崎に原子爆弾が投下されました。一面の焼野原でした。



戦死者の葬儀：無言の凱旋を迎えた遺族の悲しみに、私たちはどのように報いているか

# 戦後の苦闘

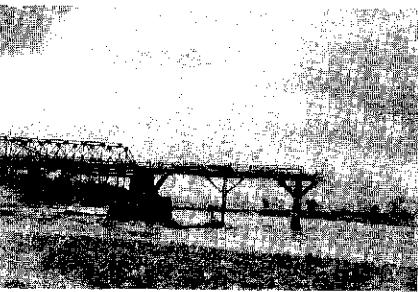
敗戦からの昭和二十年代は、混戦と再起への摸索と、新制改革への懸命な努力が続けられた十年間でした。

その前半は、勝利国である連合軍が占領政策を施した時代であり、民主主義国家への再建が主題でした。

後半は、連合国側との講和条約が成立してようやく自主独立の立場が与えられ、朝鮮動乱の特需景気に乗って工業生産が急上昇し、ひいては日本の産業復興を得た時代となりました。

## 混乱からの脱皮

二十年の冬は記録的な豪雪で、飯山線は三ヶ月も運休しました。当然に雪消えも遅く、稻作も畑作も冷害を受けるという敗戦と大凶作の年でした。



十日町橋が流失：大雨で信濃川が大溢れ、沿岸農地のほとんどが流失（昭和20年）

さらにもう一年、秋の大雪で信濃川が大溢れ、十日町橋はも

州開拓で出ていた人たちも、満州開拓で出ていた人たちも、とにかく困っていました。國の方針に随つて悪条件の現地へ乗りこんだのに、労働して得たものは敗戦で一切を失ってしまいました。ようやく故郷へ帰つてくることができても、耕地もなく就職するところもなかつたのです。

すべてが「混迷」といつた中で、農地開放が実現され、六・三・三制の教育制度が実施されました。新憲法の

人、外地引揚者が加わった都会からの疎開者、復員軍人、外逃引揚者が加わったのですから、主要食糧の不足は当然のこと、代替食品を求める方法もありませんでした。占領軍からの援助物資も、わずかな一時的な救いにしかなりません。

外地引揚者の中でも、満州開拓で出ていた人たちも、とにかく困っていました。國の方針に随つて悪条件の現地へ乗りこんだのに、労働して得たものは敗戦で一切を失つてしましました。ようやく故郷へ帰つてくることができても、耕地もなく就職するところもなかつたのです。

（昭和22年）1947  
1月 全公勞「一一一セネスト宣言」  
2月 総司令部、憲法改正の草案を拒否、総司令部案を交付  
3月 放棄施  
4月 メーテー復活  
5月 新教育制度の施行、農地開  
11月 日本国憲法公布  
※ 米種 二二〇円

（昭和23年）1948  
1月 第一回知事・市町村長選挙、参議院選、総選挙  
2月 豊農会解散、農協設立  
3月 供米に強権発動  
4月 古橋選手、水泳の世界記録  
5月 古橋選手、水泳の世界記録  
6月 古橋選手、水泳の世界記録  
7月 古橋選手、水泳の世界記録  
8月 古橋選手、水泳の世界記録  
9月 古橋選手、水泳の世界記録  
10月 古橋選手、水泳の世界記録  
※ 米種 一八八七円

（昭和24年）1949  
1月 下山事件・三瀬・松川事件  
2月 農業会解散、農協設立  
3月 総司令部、国旗掲揚許可  
4月 組合化実施（七年）  
5月 サマータイム実施（七年）  
6月 四四四年廃止  
7月 下山事件・三瀬・松川事件  
※ 米種 一七一五円

（昭和25年）1950  
1月 マッカーサー、年頭の声明  
2月 湯川秀樹博士ノーベル賞受賞  
3月 貢  
4月 朝鮮戦争爆発  
5月 日本の自衛権を強調  
6月 警察予備隊公布  
7月 譲  
8月 賢  
※ 米種 二〇六四円

（昭和25年）1950  
1月 マッカーサー、年頭の声明  
2月 湯川秀樹博士ノーベル賞受賞  
3月 貢  
4月 朝鮮戦争爆発  
5月 日本の自衛権を強調  
6月 警察予備隊公布  
7月 賢  
8月 賢  
※ 米種 二〇六四円

（昭和21年）1946  
1月 天皇人間宣言

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月



# 諏訪まつりが 今年から「十日町おおまつり」に

伝統ある八角御輿が練り歩く「諏訪神社大祭」を、より市民ぐるみのまつりに盛り上げようと、今年から名称を「十日町おおまつり」に変えて開催します。期日は例年同様八月二十五日から二十七日です。変更に至る経過、新組織等についてお知らせします。新しい新たな「まつり」にご期待ください。

平成四年十二月、市観光協会の呼び掛けで諏訪神社協賛会、商工會議所、大好き十日町会の代表者からなる「十日町のまつりを考える会」が発足し、翌五年五月まで四、五回にわたり話し合いを持ちました。六月には諏訪神社主催の諏訪まつり懇談会で、考える会の検討結果を報告しました。さらに

八月には諏訪神社協賛会、市観光協会、商工会議所、大好き十日町會議会を組織しました。そして、市長に対して「諏訪神社の神事は神事として厳かに行うものとして取り入れた全市民が参加できるまつりにできないものか等、今後

## 〈実行委員長〉

滝沢 東湖 十日町商工会議所会頭

## 〈副委員長〉

池田 耕平 十日町市観光協会会長

滝沢 光義 諏訪神社協賛会会長

蕪木 良吉 十日町織物工業協理理事長

小林 照一 十日町市農業協同組合長

吉楽 正雄 県建設業協会十日町支部長

## 〈顧問〉

本田欣二郎 十日町市長

斎木 実 十日町市議会議長

佐伯忠男 諏訪神社宮司

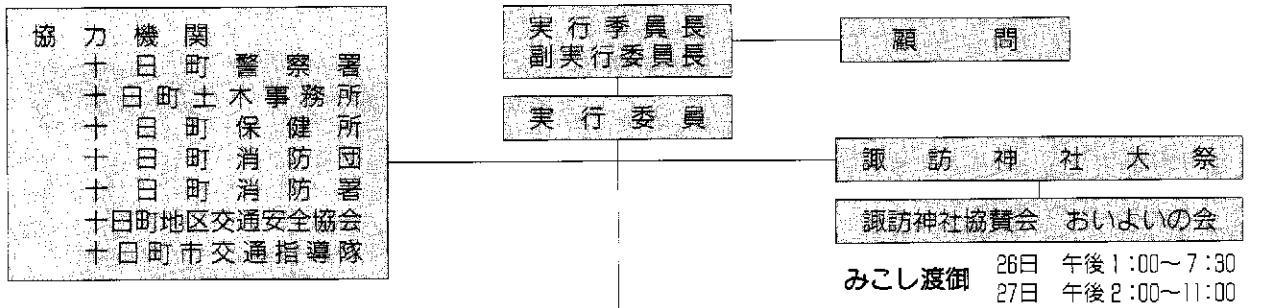
## 詳しい「まつり行事」案内

20日過ぎの新聞折り込みチラシで詳しい行事内容をお知らせします。

のまつりの在り方を検討する機関として諏訪まつり協議会を組織したので、市からも支援、協力を願いたい」という要請をしました。その後、関係団体の事務レベルで見直し作業が進められ、今年四月、市主催の四大まつり懇談会で諏訪まつりの市民的な組織づくりについて話し合われました。それを基に組織案づくりが進められ、七月二十五日(火)に第一回目の「十日町おおまつり実行委員会」が開かれ、組織、事業概要、予算等が決まりました。

実行委員会では、伝統的な諏訪まつりを核に様々な市民まつりを加え盛大な「十日町おおまつり」にして、十日町から都会に出て行った多くの人たちがまつりに帰ってきたらいいと思う魅力あるまつりにしたいと考えています。

## 「十日町おおまつり、実行委員会組織図



事務局 (露店) 25日正午~ 27日午後10:00 駅通り	まつり広場部会 (朝市広場) 24日~27日 午前5:30~6:30 諏訪神社 社務所前 (ごつお広場) 25日~27日終日 宮本公園	民謡流し部会 25日 午後7:00~9:00 本町1~本町5 高田町1・2 1300人参加予定	明石万灯部会 25日 午後7:00~9:00 本町1~本町6 駅通り 16団体参加予定	助内みこし部会 (パレード) 26日 午後1:30~2:50 本町1~クロス 10・17町内みこし 参加予定 (町内みこし) 26日午前 27日終日	少年相撲部会 27日 午前9:00~ 午後1:30 諏訪神社境内 (雨天: 武道館) 100人参加予定	煙火部会 26日 午後7:30~ 9:00 打上げ場所 十二平	俄部会 25日 午後7:30~ 10:30 26日 午前8:30~ 午後10:30 27日 午前8:30~ 午後10:00 宮下俄 上町俄 下町俄
--	---	--	--	---	---	--	--

第15回

# 克雪・利雪フェア

雪国の永遠のテーマである「雪と暮らし」を考え続け、雪国のよりよい暮らしを提案しながら、新しい雪国の可能性を追い求め、克雪・利雪フェア。今回で15回目を迎えます。

会場は、「通年利雪・親雪広場」の城ヶ丘多目的広場（ピュアランド）。十日町雪まつりの雪上カーニバル会場でもある「雪上ステージ」の雪を利用した利雪・親雪広場で、各種イベントや雪に関する技術展示、各種機械の展示販売を計画しています。

多数の来場をお待ちしています。

9月2日(土)

午前10時～午後5時

9月3日(日)

午前10時～午後4時

◆城ヶ丘多目的広場  
(ピュアランド)

■内 容  
・雪関連技術製品の展示・宣伝・販売  
・克雪住宅相談及び支援制度PR  
1 内線 271-272

策室克雪維持係 (☎ 57-3111)  
1 内線 271-272



## 資源ごみ収集に ご協力ください

4月からスタートした資源ごみ収集は、4か月余りが経過しました。

鉄・アルミ類の収集の場合、それを入れている袋の中にピン類等が入っていないか、一つひとつ袋を開けて確認していますが、次のことについてご協力をお願いします。

①ジュース等の空缶や缶詰の缶を出す際、残汁、残物が残っていると夏場は特に悪臭を放ち、破袋作業に支障をきたしています。缶の中を軽く水洗いをしてください。

②破袋作業だけで（一か所の二、三ステーションあたり）20～30分の時間を費やすことがあります。空缶等はまとめて一つの袋に入れ、出してください。（何重にもしないでください）。

また、資源ごみに限らず、通勤途中に他町内の「ごみステーション」へごみを置かないでください。一人ひとりのご協力をお願いします。

■問い合わせ 保健衛生課環境衛生係 ☎ 57-3111（内線145）  
十日町市川西町衛生施設組合 ☎ 52-3924へ。

～とらえよう  
日本の鼓動を数字から～

## 10月1日は国勢調査です

10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。この調査は、大正

9年から5年ごとに行われ、16回目に当たる今回は、特に21世紀の日本を考える基礎資料の提供という重要な意味があります。調査の結果は、国や都道府県・市区町村がこれから行政を考えていく大切な資料となり、私たちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。

赤ちゃんからお年寄りまで日本に住んでいるすべての人が調査の対象となります。

9月下旬に、世帯ごとに調査票を配布します。アパートなどに一人暮らしの人、下宿している人は一人ひとり記入してください。調査票は後日、調査員が集めに伺います。外出がちな人は家にいらっしゃる日をお伝えください。皆さんのご協力をお願いします。

市では、8月1日付で小川助役を本部長とする「平成7年国勢調査実施本部」を設置しました。国勢調査についてのお問い合わせは実施本部（☎ 57-3111内線191・280）へお気軽にご連絡ください。

### 国勢調査 Q & A

Q プライバシーは守られますか。

A 国勢調査は「統計法」等の規定に基づいて行われます。これは調査する人にも調査される人にも適用されます。調査を受ける人は申告が義務付けられ、一方、調査をする人は、その結果を他にもらしたり、調査票を統計をつくる目的以外に使用することは全く禁じられています。プライバシーは守られますので、ご協力をお願いします。

# やくら交流録

みんないきいき。  
PART 53

## 「枯木又エコミュージアムの会」

(事務局長: 山田 栄)

地区のみんなが待ち望んでいた「枯木又エコミュージアムの会」が今年5月4日に発会しました。そもそもエコミュージアムは20数年前にフランスで生まれた新しい理念です。エコはエコロジー(生態学)の略、ミュージアムは博物館と訳されていますが、私たちは「枯木又の自然環境や文化遺産、生活、地区の資源それ自体が、博物館で言うならば展示品であり、それを



浦和からのリレーマラソン、アンカーは子供たち



奥さんたちは強力な青年会のメンバー

②ナスは半分に切り、あ  
り、ゆでる。  
①鳥肉は皮と油身を取  
れてもOKです。  
△作り方△

副菜には、野菜、海藻などを多く採り入れた一品を加えたいものですね。カルシウムも豊富な一品です。

ドレッシングに酢を多く使い、塩分を少な目にしました。ナスの替わりにキュウリ、トマト、ブロッコリーなど、なんでもおいしく食べられます。みんな一緒に和えてもOKです。

大切に守り育てながら訪れる人たちと交流が持てる地域、つまり『地域丸ごと博物館』と考えています。

枯木又では浦和市の学習塾「わかば塾」と20年来の交流を続け、それ以前にも新潟子供の会と交流を持ってきました。このOBと枯木又青年会が一緒になって「都市住民との本格的交流をもとに十日町市の東の玄関口を目指そう」と話し合った提案が、平成4年度の市のまちづくり特別補助事業に採択されたおかげでエコミュージアム構想の地域づくりがスタートしました。

現在、会員は賛助会員(年会費1万円)が37人、一般会員(3千円)113人の計150人。地区の者は全世帯(17世帯)が会員ですが、市外会員が79人と半数以上を占め、熱いエールを贈ってくれていることに感謝しています。全員で86人、うち夢ある中学生以下の子供たちが16人の小さな山間地集落ですが、訪れる人たちと共にできる資源の整備に知恵を出し、汗をかきたいと思います。皆さんのご提言を私たちの会(山田栄☎59-2317・FAX59-2326)までお寄せください。

現代人は高栄養の食事が多く、特に動物性脂肪の採りすぎだといわれています。



〈材料〉 4人分  
鳥手羽(またはササミ)…150g  
ナス…6~8個  
生ワカメ…片手山盛りで1杯位  
ストリングチーズ…1本  
青じその葉…5~6枚  
ゴマ…少々  
ドレッシング  
ニンニク…2かけ(すりおろす)、うめ干し…2個、酢…大さじ2、みりん…大さじ1、正油…大さじ1、酒…大さじ1、ゴマ油…大さじ1/2

やまな会 (十日町市食生活改善推進委員協議会)  
**おすすめメニュー**

⑭



富井千代栄さん  
(水沢2・☎58-2167)

④生ワカメは水でもどす。  
⑤①~④を冷蔵庫で冷やす。  
⑥ドレッシングも冷やす。  
⑦青じその葉は千切りにする。  
⑧食べる直前に、⑤とドレッシングを和え、青じそとゴマをちらす。

く抜きをする。よく水を切ってから、こげ口がつくまで焼く。  
③ストリングチーズは、細くさいておく。

# ワンポイント A B 英会話レッスン

樋口潤子  
(十日町市企画人事課)

"OUCH!"

痛い!

うっかり机の角にぶつかってしまった時、とっさに出る一言は "Ouch!" (アウチ)。このように、とっさの時や驚いた時、英語ではどんなふうに言うのか、いくつかご紹介しましょう。

前出の "Ouch" は「痛い」。「おっと」というのは "Oops" (ウーブス) です。例えば手に持っている物を落としてしまいそうな時、人にぶつかりそうになった時などに使ってみてください。驚きを表す時は、良い事への驚きと悪いことへの驚きに分けられます。前者の場合には "Wow" (ワオ) という言葉がよく使われています。「わあ、すごい!」という意味です。後者には "Oh, no" (オウノー) などがあります。

驚きの言葉で、良い・悪いにかかわらず使われるのが "Jesus" (ジーザス)、転じて "Gee" (ジー)、 "Oh, my God" (オー マイガッ) などがあり、いずれもイエス・キリストの意味です。 "Oh, my God!" は、驚きが非常に大きい時に使う言葉で、あまりしょっちゅう使うと場違いな感じがします。

以上のように、感嘆詞は短くて覚えやすいので、皆さんも使ってみてください。

\*来月からこのコーナーに、市内在住の、中学校・高等学校英語指導助手の皆さんから登場していただきます。お楽しみに!

生まれは川西町の子根岸です。信濃川沿いにある村で、大雨が降ると何度も堤防が崩れて、田んぼが流されたような気がする。また、ある時の大雨の後、村の衆が総出で、信州から流されてきたスギの丸太を何本も引き上げらんでもたたえ。今は立派な堤防を作つてもらつて、有難いことだの。

二十三歳の時、嫁に来たんだて。子根岸の実家の本家ん衆と、ここん衆の本家が親類で、行き来していたんだて。それで鉢の本家のじいさまが、おら分家にどうでも嫁に来てほしいんで、そつけなんで嫁に来たんだて。

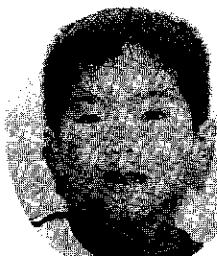
昔に比べれば今は良くなつたの。お。だども何買うにしても金がいって大変だてえ。だつけおらどこの男衆は、冬働きに東京へ行かんじやなんねやんだて。だつけ、冬は雪掘りしらんが、女手ばっかんで、大変なんその。

去年、じいちゃんが九十二歳で亡くなつたんの。内孫も三人東京へ行ってらんだて。だつけ寂しいてえ。毎日テレビ見てらんぞ。特に相撲の貴乃花、若乃花兄弟を見らんでます。

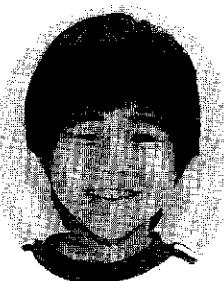
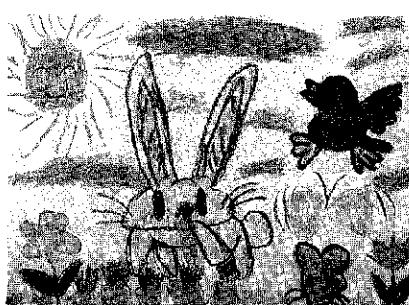
# じょうずには描けたね!

天使幼稚園

125



鈴木 郁弥くん  
(5歳)



うさぎがにんじんを食べているところだよ。私は動物が大好きなの。えさをやつたり世話をするの。



尾身ムメノさん  
(鉢一・89歳)



65

# 第5回 県民手帳

受付中  
(1996年度版)  
予約受付中  
持つていると  
役立ちます

県民手帳の予約を受け付けます。  
表紙は、ラベンダーとワインレッドの2色があります。

価格 400円  
発行時期 11月中旬  
申し込み 8月25日(金)までに総務課文書統計係(☎内線22)へ。

緑豊かなふるさとに  
就職しませんか!!

市では、十日町市・中魚沼郡内の事業所からの求人を一覧表にして無料で配布しています。期間は8月10日(木)から20日(日)までです。ご家族の人もお持ち帰りできます。

■配布場所 市役所(高齢者職業相談室)、クロス10、ライオン堂十日町店、十日町シルクモール、問い合わせ 商工観光課商工労政係(☎内線21)へ。

## 第28回市展ボスター

第28回市展の採用がスタートが、7月24日(月)に行われた市展運営委員会で決定されました。第28回市展は10月22日(日)~24日(火)に開催されます。

採用 宮沢美世子さん(小黒沢)

佳作 田川千枝さん(五軒新田) 小川純一さん(東京都杉並区)

## 農業用軽油の免税証交付

とき 8月24日(木)  
午前9時~午後4時  
ところ 十日町総合庁舎  
(第一会議室)

とき 8月24日(木)  
午前9時~午後4時  
ところ 十日町総合庁舎  
(第一会議室)

必要書類 ①免税軽油使用者証書 ②耕地面積証明書(農業委員会で証明します) ③印鑑(共同の場合は全員の印鑑) ④機械を購入した場合は、販売証明書とカタログ ⑤免税証交付申請書(交付会場で記載)

問い合わせ 十日町財務事務所  
課税課(☎57-5512)へ。

とき 8月25日(金)  
午前9時~午後4時  
ところ 市民会館  
(内線161)へ。

参加費 350円(テキスト代)  
当日徴収します。  
定員 30人(先着順)

申し込み 8月25日(金)  
午前9時~午後4時  
ところ 日町市社会福祉協議会(☎内線161)へ。

手話講習会

願書受付期間 8月7日(月)~9月6日(水)まで(土・日曜日を除く)に新潟県教育委員会へ。  
問い合わせ 学校教育課学校教育係(☎内線311・312)へ。  
催し

手話講習会

国内外で活躍する6人の彫刻家たちの作業を是非一度ご覧ください。彫刻をきっと身近に感じることができます。

真夏の炎天下、体力の限界に挑戦する6人の彫刻家たちの作業を是非一度ご覧ください。彫刻をきっと身近に感じることができます。

ジウム実行委員会事務局(社会教育課・公民館内☎57-5011)へ。





# history

十日町の盆踊り

(市史編纂委員会)

## ふる里の歴史散歩

(10)

今年もお盆の季節がやってきました。マチもムラもふる里に戻ってきた人々でにぎわい、活気がみられます。

七日ころからお墓掃除、十三日がお精霊様迎え、十五日がいわゆるお盆でお寺とお墓参り、十六日はお精霊様送りと盆行事が続きますし、この間、各地で盆踊りの輪が立っています。

盆踊りは、祖靈を慰めるとともに地域の共同娛樂、その上、秋の豊じょうの祈りがこめられているものだとか。多少、歌の文句や踊りに卑わいなところがあるのも、作物の生育に刺激を与えるためといわれています。昔からの盆踊りには、太鼓のまわりを回わる輪踊りと、群をなして練つていく流し踊りの二つがあり、十日町のものはいずれも輪踊りの形式です。

市全域でみられる盆踊りには、「三階節」「甚句」「おけさ」と新民謡の「十日町小唄」。北寄りの中条・下条地区では「大の坂」「新保広大寺」と「ヨイイヤサ」など。これに対して南寄りの川

治・水沢地区では「カラス踊り」や「ホーカイ節」などの踊りがみられます。

近ごろの盆踊り会場をのぞいてみると、拡声機から流れてくるのは全国各地の有名民謡が多く、踊りもまたお行儀の良いものばかり。これではだれもが気楽に輪の中へ飛び込めるという感じのものではありません。

盆踊りはやはり、その土地に伝わってきたものではないと、ご先祖様も面くらつてしまふにちがいありません。ふる里の盆踊りは、大切にしたいものです。

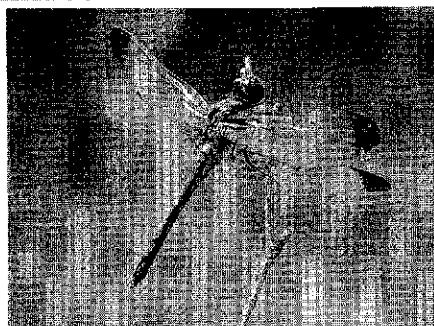


時間とともに踊りの輪が二重三重に広がります

## 今月の表紙

人は子を産み、子を育て、その子もやがて親になる。この繰り返しは昔も今も変わらないと思います。今月の表紙は、戦後50年の今年生まれた赤ちゃん（樋口愛ちゃん・神明町）を母親（樋口由佳里さん）がこの上ない愛情で見つめる情景を撮影しました。戦中・戦後の動乱期にもこんな情景があったのでしょうか。

戦後50年の今年、民間団体を中心に、朗読劇「この子たちの夏」、「ひめゆりの塔」親子映写会、「きけわだつみの声」映写会など様々な行事がおこなわれました。さらに8月6日には「第41回原水爆禁止十日町市民大会」が行われました。戦争の悲惨さを改めて見つめ直し、たゆみない平和運動を継続しましょう。



## ノシメトンボ

アカトンボの仲間の中で一番大きなトンボです。7月から10月にかけて多く見られます。羽の先に黒褐色の帯があるので、その帯がノシメトンボと他のトンボとを見分けるポイントになります。

胸のわきには、上のへりまで届く、2本の太くて黒い筋があります。腹部は橙（オレンジ）褐色で、両側に黒い筋があります。この筋ができる縞模様が、江戸時代の武士が礼服として使っていた「のしめ」という小そでに似ていることから、「ノシメトンボ」という名前が付けられたといわれています。

7月から10月にかけて池や沼で多く見られますが、未熟なものは水辺を離れて林の中で生活し、木の梢や高い枝先などにとまっています。成熟すると水辺にもどり産卵の準備をします。



## 編集後記

□最近ある人から借りた本の中に、南の島でグータラしている現地人と、文明国からやつてきた白人の興味深い会話がありました。「そうやって毎日ゴロゴロしていると、いつまでたってもいい生活はできないぞ。少しば働いたらどうだ」「するとかね。あんたらが終始忙しそうにしているのは、いい生活とやらを入れるためにね」「当たり前じゃないか」「じゃあ聞くが、いい生活とはどういう生活なんだ」「毎日ゆつくり樂ができる、欲しいものはいつでも手に入るような生活だ」「何だ、そんな生活ならわしらが今やつてることじゃないか」「じやあ聞くが、いい生活とはどういう生活なんだ」「毎日あくせく働いている私たち。ジョークとして笑い飛ばしてしまえばそれまでですが、何か思い当たるところがありませんか。」

## 市の動き

(7月末日現在)

■人口	45,488人(前月比 -19)
男	22,383人(リ -14)
女	23,105人(ル -5)
■世帯数	12,789 (前月比 土 0)